

E V車両導入事例

京都市上京区 個人事業主（軽貨物運送業）

EVトラック 導入時期	令和7年7月17日～ （市補助活用車両）
営業所所在地	京都市上京区
利用頻度	1日9時間運用 3時間継足充電
導入理由	知人の紹介



導入者の声

知人がEVの乗用車を利用していたことがきっかけでEVを導入してみることにしました。

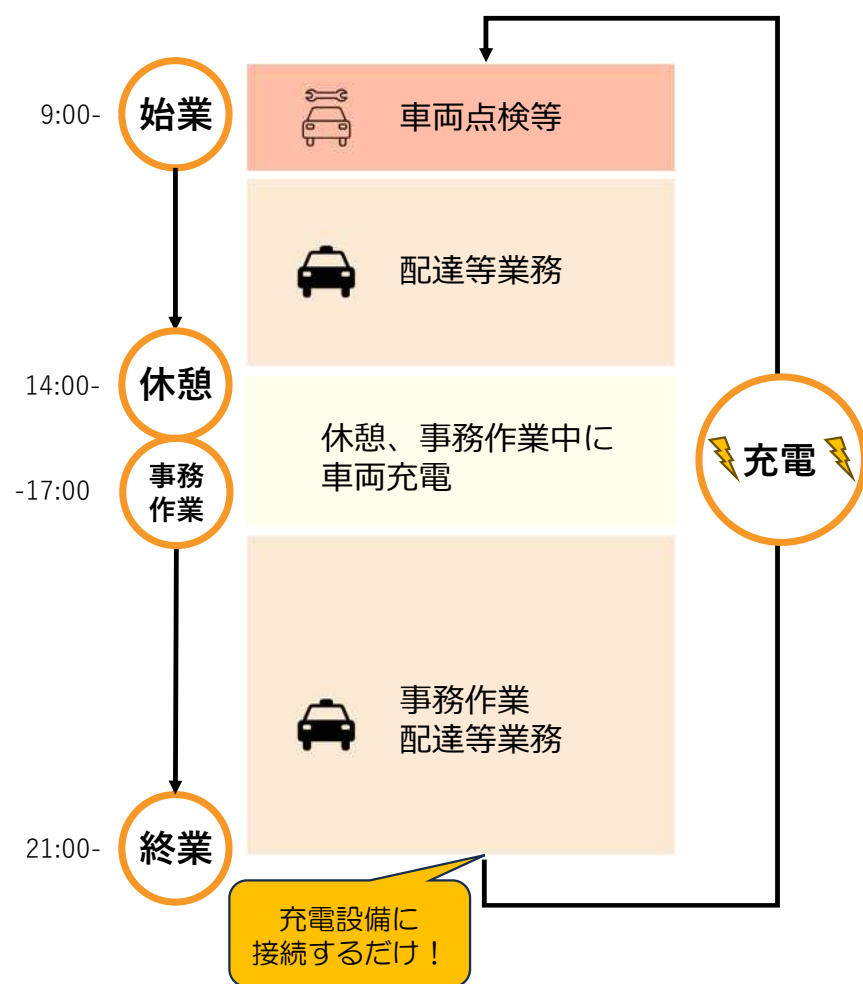
自動車販売会社で相談した時に、保証で走行距離またはバッテリー劣化いずれかの条件を満たせばバッテリーを交換してもらえることを知り、安心しました。

運用面ではなにもわからないところからのスタートでしたが、日々運用方法に工夫を加え、仕事内容も臨機応変に変更しながら対応しました。

ランニングコストが大きく削減できたため目に見えてコストメリットが出ているので、商用車として軽貨物EVを導入するのはかなりオススメです。

E V車両導入事例

E V車両の1日のスケジュール



◎ 基本は3kWの普通充電設備で充電
→夜間の充電でフル充電に！

◎ 必要に応じて民間の急速充電設備を活用しながら運用



軽貨物EVを運用するうえで苦労した点



従来のガソリン車との違いについて

最初は走行距離や運用方法の違いに困惑しました。中遠距離の配送は不安があったので、受注する仕事を調整するなどの対応をしました。

また、充電をどの時間にするか、急速充電するかもよく考えました。特にエアコンを利用する夏・冬はバッテリーを消費しやすいので、当初は急速充電もほぼ毎日活用しながら運用しましたが、それでも従来車より低コストで運用できています。

さらに今では運用にも慣れ、急速充電の頻度も減らすことができたので、コストダウンにつながっています。

配送ルートについて

EVの効率的利用や業務効率の観点から、ベースとなる配送ルートの中で一緒に配送できる仕事も受注するようにしました。

さらに、最適なルートで回れるように考えることで、昼と夜の充電だけでも十分こなせるようになり、ランニングコストも減りました。

軽貨物EVを導入してよかった点



コストメリットについて

EVは高いというイメージでしたが、国補助と市補助を併用したことで、ほぼガソリン車と同等価格でEVに更新することができました！

また、オイル交換などが不要となったためメンテナンスの手間も減り、燃料代も安くなっているので、そこもありがたいところです！

燃料代について

基本的に営業所で充電し、必要なときに応じて民間の急速充電器で急速充電していますが、ガソリン車に乗っていたところと比べるとかなり安くなりました！！

年間**45,000km**走行で**約150,000円（約30%）**のコストメリットがありました！！

～算出条件～

年間走行距離：45,000km、比較車種：三菱社のミニキャブバンとミニキャブEV
年間で100回、急速充電（600円（税込）/回）したとする。

<電気>

ミニキャブEVの電費：127Wh/km※¹ ÷ 70% ≒ 181Wh/km ≒ 0.181kWh/km
↳ エアコン使用などによる電費の悪化を加味

電気単価：31円/kWh(税込) ※²

電気料金：45,000km × 0.181kWh/km × 31円/kWh ≒ 253,000円(税込)

急速充電料金：600円/回 × 100回 = 60,000円（税込）

総額：253,000円 + 60,000円 = 313,000円（税込）

<ガソリン>

ミニキャブバンの燃費：16.4km/L ※³

ガソリン単価：170円/L(税込)とする。

燃料料金：45,000km ÷ 16.4km/L × 170円/L ≒ 466,463円(税込)

※¹ 三菱自動車工業HP ミニキャブEVカタログ

https://www.mitsubishi-motors.co.jp/lineup/minicab_ev/spec/pdf/minicab_ev_spec.pdf

※² 公益社団法人全国家庭電気製品公正取引協議会HP よくある質問Q&A

<https://www.eftc.or.jp/qa/>

※³ 三菱自動車工業HP ミニキャブバンカタログ

https://www.mitsubishi-motors.co.jp/lineup/minicab_van/spec/pdf/minicab_van_spec.pdf

E V車両導入事例

他にもいろいろ聞いてみました♪

今回はどのような補助金を活用されたのですか？

国補助：商用車等の電動化促進事業

市補助：京都市運送事業者向け車両の脱炭素化モデル支援事業
を活用しました。

その結果、補助金の合計は**1,440,000円**になりました。

EV車両導入時に苦労したことはありますか？

最初はガソリン車との運用方法等の違いに困惑しました。

しかし、ルートを考えたり、受注する仕事の種類を変えたりなど、
試行錯誤しながら運用を進めた結果、**大きなコストメリット**が得
られました。

今後もっと工夫できると思うので、もっと良くなると考えると楽
しみです。

今後、EV軽貨物を追加導入する可能性はありますか？

従業員が増えたら、3台を所持して2台が稼働・1台が充電をし
ている状態が理想だと思っています。

また、誰が運転したとしても運用できるようにしていければいい
なと思っています。

導入を考えている方に向けて、一言お願いします。

商用車としてEVを導入するには、日々の工夫（運行計画や配送
ルート、そして受注する仕事の選定など。）**が必要**です。

しかし、それを以って余りあるほどのメリットは間違いなくあ
ります。個人だからこそそのメリットかもしれませんが、自分が工
夫した分の見返りがあるので、工夫のし甲斐もありますし、今後
も試行錯誤していくつもりです。

正直、何も考えずとりあえずEVにしてみようか。ではこういっ
た旨味は得られないので、導入を考えている方は、ぜひ日々の工
夫を大事にしてください！

エコちゃんMEMO

初めての軽貨物EVの導入で、0からのスタートでしたが、1年の工夫
の積み重ねで従来車のかかりまし費用分程度のコストメリットは得られ
たのではないかと語っておられました。

商用車としての軽貨物EV導入は最初は困惑しますが、かなりオススメ
とのことでしたので、今悩まれている方は参考にしてみてください♪

ただし、**「日々の工夫」**はお忘れなく！！

